

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 29 年 6 月 6 日 (NO.92)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

## 会長就任にあたって



浦幌町小中一貫  
CS 委員会  
会長 松田 泰一

元木氏、岸田氏、林氏のあとを受け継いで会長という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

小中一貫 CS は、皆様方のたゆまぬ献身的なご努力によって支えられ進展して参りました。さらによりよいものになるよう努めますので宜しくお願い申し上げます。

本町の CS は、導入に向けて平成 24 年度から視察・研修を行い、平成 27 年 4 月から本格実施をいたしました。昨年度の活動報告の中では、取組の成果として、「情報共有や協働により、小中学校の壁、学校と地域の壁が取り払われてきている」「スマホ・ゲーム機の使用ルールを全町に宣言し、望ましい生活リズムを取り戻す契機となった」等、11 点が示されるまでになりました。

このことは、小中一貫 CS の意義を深く理解し、それに向けての熟議を厭わなかった教職員をはじめ、保護者、地域の皆様方のお力のお陰であり、深く感謝を申し上げます。

さて、現代社会は、ICT や AI 等に代表さ

れる技術革新によって、そのありようを激変させております。そのような社会において人間としてどうあるべきか、規範意識や倫理観の再構築が求められ、それがいまだ得られず、深い混迷の中にいるように思われます。これまで経験したことがない社会という意味では、我々大人も子供たち同様大きな不安の中にいるのではないのでしょうか。

このような中で、CS の合言葉である「浦幌の子供は浦幌で育てる」「地域縦ぐるみの教育」は大きな力を持ちます。この社会に生きていく子供たちの将来や幸福を考えて行動することは、我々大人が進むべき道をも照らす灯になるかも知れず、まさに「共育」なのかも知れません。

思いの一端を申し述べましたが、町民の皆様方のご協力があってこそその小中一貫 CS です。なお一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。非力ながら誠実に努めさせていただくことをお約束申し上げます。就任のご挨拶といたします。

### 学園評価委員会の設置

■これまで文部科学省指定の「学校評価システム構築事業」を活用し、スクールアナリスト木幡敬史教授の指導・助言により、浦幌学園、上浦幌学園における永続的な学校評価システムを構築してきました。

■今年度は、これらの取組を受け、両学園に「評価委員会」を設置し、PDCA サイクルによる小中一貫 CS の充実を図っていきます。

木幡教授には、すでに 5 月 18～19 日にご来町いただき、学園評価委員会の役割や組織構成などについてご指導いただきました。